

117
(木)

啓示としての神の語りかけ

へブライ人への手紙一章14節

神は、かつて預言者たちを通して、折に触れ、さまざまなかたで先祖たちに語られたが、この終わりの時には、御子を通して私たちに語られました。(1、2)

聖書の神は、私たち人間に語りかけてくださる神です。それは神を見失った私たちにご自分のことを知らせるためです。旧約の時代、神は自然現象や奇跡、歴史上の出来事などを通して、また預言者たちを通して語って来られました。そしてついに、神は御子キリストをこの世に遣わし、その御子を通して、神は余すことなく自らを表してくださいました。この手紙の著者は、集中してキリストについて語ります。それは当時の教会が、外からは迫害があり、内部では健全な信仰を乱そうとする悪の霊との戦いがあったからです。これらの信仰的危機を乗り越えるためには、御子がいかなる方であるかを正しく知ることが必要です。この方があるどんなに大きなことをしてくださいましたかを知ったなら、どんな困難をも乗り越えられると励みますのです。御子キリストをいよいよ深く知る者となりますように。